

平成28年度 事業報告書

自 平成28年1月1日
至 平成28年12月31日

I	国際交流に関する事項	1頁～4頁
II	登録に関する事項	4頁～9頁
III	引退競走馬に関する事項	9頁～10頁
IV	総務に関する事項	11頁～14頁



公益財団法人 **ジャパン・スタッドブック・インターナショナル**
Japan Association for International Racing and Stud Book

平成28年度 事業報告書

本財団は、競馬に係わる国内外の情報の提供および技術交流、軽種馬の登録ならびに競走を引退した馬（以下「引退競走馬」という。）への助成により、国際相互理解の促進、国内外の軽種馬の改良増殖、公正な流通の促進、競馬に対する信頼の確保および馬の福祉に寄与するため、以下の公益目的事業を実施した。

I 国際交流に関する事項(公益目的事業1)

競馬を通じた国際相互理解の促進や技術向上に寄与するため、国内外の競馬に関する情報の収集・提供や競馬の技術などに関する海外との交流事業を実施した。

1 競馬に関する情報の収集および提供事業

(1) 海外競馬関連情報の収集および国内への提供

海外の競馬および生産などに関する定期刊行物、書籍などから最新の話題やニュースを収集・翻訳・編集してホームページなどにより広く一般に提供した。

- ・海外競馬ニュース（毎週・ホームページ）
- ・海外競馬情報（毎月・ホームページに加え印刷物も配布）

(2) わが国の競馬関連情報の海外への提供

(ア) 海外の競馬関係者や一般市民を対象とし、わが国の競馬および軽種馬生産などに関する情報の他、関係法令、競馬場、開催日程などの情報を外国語版（英、仏、中、韓）ホームページにより広く一般に提供した。

また、海外からの電子メール・電話などによる各種問合せに対し、迅速に情報を提供した。

なお、閲覧者が見易く、必要な情報にアクセスし易いように外国語版ホームページのリニューアルを実施した。

(イ) 中央競馬のG 1 レース当日、G 1 レースの他、前後のレースを含めたレースのライブ映像をイギリス、フランス、オーストラリア、ニュージーランド、香港およびドバイに提供した。併せて、アメリカおよびカナダに対して、G 1 レース当日の全 1 2 レースのライブ映像の提供を実施した。

また、これらのレースに関する情報を外国語版ホームページにより広く一般に提供した。

2 競馬の技術などに関する海外との交流事業

(1) 技術研修

(ア) 定期研修

5月30日から6月10日までの12日間、アジア競馬連盟(ARF)加盟国の競馬統括機関および関係機関が公募して推薦する競馬開催執務員を対象とし、わが国の競馬施行および軽種馬生産の全般に関する定期研修を実施した。講師は、わが国の競馬運営および競馬開催に従事する専門家が担当した。

- ・参加者：南アフリカ、マレーシア、シンガポール、香港、マカオ、韓国から各1名の計6名

(イ) 専門研修

8月23日から29日までの7日間、アジア競馬連盟加盟国の競馬関係者などを対象とし、ハンデに関するより高度な専門知識および技術の

向上を図る専門研修を実施した。講師は、我が国の競馬に携わるそれぞれの専門家が担当した。

<参加者>

・ハンデ研修：シンガポール、オーストラリアから各1名の計2名

(2) 国際交流行事など

(ア) 1月24日から5日間、インドのムンバイで開催された第36回アジア競馬会議において日本代表団事務局として参加団体への支援を実施した。

(イ) 人馬の海外遠征を支援するため、海外遠征馬の出馬登録の窓口となり、現地主催者との連絡調整を実施した。また、遠征に係る事務手続きなどの支援も実施した。

3月のドバイワールドカップおよび12月の香港国際競走に際しては、本財団職員を現地に派遣し、現地主催者と日本からの遠征馬関係者との連絡調整を実施した。

(ウ) わが国の国際レース取材のために来日する報道関係者に対し、資料・情報の提供、取材援助、滞在・移動などの包括的な支援を実施した。

(3) 中国に関する事業

わが国の競馬に関する知識および技術を活用し、中国におけるサラブレッド血統登録の進展、人材育成、交流を図るための事業を下記のとおり実施した。

・6月13日から6日間、わが国において中国の馬産業に従事する獣医師(2名)を対象とする獣医技術に関する研修を実施した。

・8月29日から6日間、わが国において中国馬業協会サラブレッド登記管理委員会の職員(2名)を対象とする血統登録に関する研修を実施した。

- ・ 9月16日から3日間、北京天賜聖泉馬術クラブで施行された速度競馬を視察した。併せて、サラブレッドの血統登録の進展を支援するため血統登録馬による競走に賞金を賛助した。
- ・ 10月25日から4日間、北京において中国牧工商集団および北京市馬術運動協会との共催による麻酔及び間接鏡手術、X線及びエコー診断技術に関する研修を実施した。
- ・ 11月9日から6日間、わが国において中国牧工商集団関係者（3名）を対象とする馬生産技術管理に関する研修を実施した。

Ⅱ 登録に関する事項(公益目的事業2)

国内外における軽種馬の改良増殖や公正な流通を促進するとともに、競馬に対する国民の信頼確保ならびに国際相互理解の促進に寄与することを目的とし、軽種馬の厳正かつ公正な登録および登録情報の国内外への提供などの事業を実施した。

1 軽種馬の登録事業

(1) 血統登録および繁殖登録

(ア) 血統登録および繁殖登録

登録審査業務については、登録規程、登録規程実施基準などに基づいて書類審査および実馬審査を厳正に実施した。

血統登録の申込みは、前年に比較して内国産サラ系統（当歳）は108頭増加した。

繁殖登録の申込みは、前年に比較して血統登録済みのサラ系統の雌馬は17頭増加した。

また、血統登録した馬については、血統登録証明書および馬の健康手帳に貼付される個体確認書を交付し、繁殖登録した馬については、繁殖登録証明書を交付した。

血統登録

区 分	品 種		平成 28 年度 申込頭数	平成 27 年度 申込頭数	増減
内国産馬	サラ系統	当歳	6, 6 0 5	6, 4 9 7	1 0 8
		1 歳	2 0 7	2 2 7	△ 2 0
		計	6, 8 1 2	6, 7 2 4	8 8
	アラ系統	当歳	1	8	△ 7
		1 歳	0	0	0
		計	1	8	△ 7
輸入馬			1 4 3	1 3 2	1 1

繁殖登録

区 分	品 種	性	平成 28 年度 申込み頭数	平成 27 年度 申込み頭数	増減
血統登録 済みの馬	サラ系統	雄	3 2	3 4	△ 2
		雌	9 5 2	9 3 5	1 7
		計	9 8 4	9 6 9	1 5
	アラ系統	雄	3	0	3
		雌	1	3	△ 2
		計	4	3	1
輸入馬	雄		2	3	△ 1
	雌		1 1 2	1 1 1	1
	計		1 1 4	1 1 4	0

(イ) DNA型検査

登録審査で採取した毛根によるDNA型検査を(公財)競走馬理化学研究所に委託し、親子判定および輸入馬、繁殖登録馬(雄)などを対象とした個体識別を実施した。併せて、芦毛の遺伝子検査も実施し

た。

区 分		平成 28 年度頭数	平成 27 年度頭数
親子判定	サラ系統	6, 8 1 4	6, 7 2 5
	アラ系統	1	8
個体識別	サラ系統	3 6 7	3 4 4
	アラ系統	3	0
計		7, 1 8 5	7, 0 7 7

(2) 馬名登録

馬名登録実施基準に基づいて実施した馬名登録は7, 5 1 8件で、前年に比較して7 2 8件増加した。

区 分	審査・登録件数	
	平成 28 年度	平成 27 年度
新規登録	7, 2 5 2	6, 4 8 9
馬名変更	1 4 0	1 7 2
外国競走馬	5	1 0
繁殖登録馬	1 2 1	1 1 9
計	7, 5 1 8	6, 7 9 0

2 血統登録などの情報の提供事業

(1) 軽種馬の登録情報などの提供

血統および馬名などに関する情報を、ホームページなどにより広く一般に公開した他、競馬主催者団体、軽種馬生産者団体、マスコミなどに提供し、これらの機関の制作物（ホームページ、印刷物など）を通じて国内外に広く公開した。

(2) 血統書の発行

登録した軽種馬を国際基準に基づいて和文血統書（サラブレッド、その他の品種）、欧文血統書（サラブレッド、アラブ）に随時登載し、ホームページにより広く一般に公開した。

(3) 軽種馬統計などの発行・公開

ライフステージ別の統計データ、輸出入馬などのデータを取りまとめ、「軽種馬統計」を発行した他、統計データをホームページや軽種馬生産者団体の印刷物（JBBA ニュース）を通じ公開し、広く一般に提供した。

3 海外の血統書統括機関との連携事業

(1) 国際血統書委員会(ISBC)への参画

9月26日、英国ニューマーケットにおいて国際血統書委員会の年次会議が開催され、本財団職員がアジア地域代表メンバーとして出席し、国際間の血統書承認に関する案件などを協議した。

(2) アジア血統書会議(ASBC)の主宰

1月25日、インドのムンバイにおいてISBCのアジア地域代表としてインド血統書統括機関とともに第13回アジア血統書会議を主宰した。

17の国と地域から45名が参加し、2014年および2015年のISBCの年次会議報告、地域報告などを実施した。

(3) 軽種馬の輸出入などに関する事務

(ア) 輸出証明書などの交付

軽種馬の輸出入に当たり、国際基準に基づいて当該馬の輸出証明書および馬の個体識別手帳（パスポート）の交付・受領などの業務を、相手国の血統書機関との間で実施した。

(イ) 馬名の承認に関する事務

国際基準に基づいて出生国の承認が必要となる馬名に対しては、当該国との相互の審査によって馬名の登録および変更を承認した。

4 登録事業に関するシステム関係事業

(1) システムの開発および改善

血統登録、繁殖登録、馬名登録および関係団体との情報交換などの各種業務を効率的、効果的に実施するため、システムの開発および改善を実施した。

(ア) 登録審査業務の効率化を図るため、平成26年から開発を進めている電子端末を利用した登録システムの構築の一環として、オフコンと電子端末間のデータ交換システムなどを開発した。

(イ) 個人情報情報を正確に管理することを目的に、現在管理している生産牧場および所有者のデータを個人または法人に区分できるシステムに改修した。

(ウ) 馬名登録業務の効率化を図るため、馬名登録システムに海外の馬名登録機関も欧字による馬名検索ができる機能などを付加した。

(2) システムの適切な管理運用

競馬主催者や生産者団体などとの間で恒常的に実施される登録情報や競馬情報の安定的なデータの送受信を図るため、システムの管理運用を適切に実施した。

5 その他

(1) マイクロチップ埋込推進

軽種馬へのマイクロチップの埋め込みを推進するため、生産牧場などの飼養者に対して、埋め込みに要した費用の一部を助成した。

(2) 血統登録の審査技術水準の向上を目的とした研修会などへの講師派遣など

競馬主催者などが実施する技術研修会などに、本財団職員を講師として派遣した。

また、本財団内においても、審査技能の定着向上などを目的とする研修会を開催した。

(ア) 日本中央競馬会の委嘱登録審査委員に対する研修会

(3月15～16日)

(イ) 地方競馬全国協会の委嘱登録審査委員に対する研修会

(2月25日、3月24日、11月15～16日)

(ウ) 日本中央競馬会の職員一般研修

(3月15日)

(エ) 地方競馬全国協会の馬場管理委員に対する特徴照合研修会

(9月14日)

(オ) 本財団の登録審査委員に対する採徴基準研修会

(6月8日、6月28日)

Ⅲ 引退競走馬に関する事項(公益目的事業3)

一般市民に引退競走馬と触れあう機会を提供し、馬の魅力を伝えるとともに、豊かな人間性の涵養と競馬に対する国民の信頼確保に寄与することを目的とし、引退競走馬の繋養展示活動への助成および情報提供などの事業を実施した。

1 引退競走馬の繋養展示活動への助成事業

(1) 繋養展示活動への助成

競走、繁殖、乗馬などの経済活動を終えた高齢の引退競走馬のうち、競走馬として活躍し、競馬の発展に貢献した名馬を繋養展示する所有者に対し、対象馬の飼養費などに係る経費の一部を助成した。

助成対象馬の頭数は、年度当初215頭(継続197頭、新規18頭)

で、後期に新規6頭が加わったものの、年度途中で死亡などにより33頭減少した結果、年度末は188頭であった。また、20歳、25歳、30歳を迎えた助成対象馬29頭に対し、特別助成金を交付した。

区分		助成対象馬の頭数			
		平成28年度		平成27年度	
		前期	後期	前期	後期
中央競馬重賞競走勝馬	継続	179	183	170	181
	新規	17	6	23	7
	計	196	189	193	188
地方競馬ダートグレード競走勝馬	継続	18	19	13	18
	新規	1	0	5	1
	計	19	19	18	19
計		215	208	211	207

前期は1月1日付け、後期は7月1日付けの頭数

(2) 馬名プレートの提供

繋養展示する施設を訪問した一般市民に対し、助成対象馬の情報を分かりやすく伝えるため、展示施設に馬名、血統、毛色、競走成績などを表記したプレートを提供した。

2 引退競走馬の情報提供事業

ホームページやパンフレットにより、引退競走馬の近況や繋養展示する場所などの情報を広く一般に提供した。

IV 総務に関する事項

1 評議員会等の開催状況

(1) 評議員会

回	開催年月日	議決事項	当日の 議員数	当日の 出席数	議決の 結果
1	H28. 3. 15	①平成27年度事業報告（案）について	9	8	全員賛成
		②平成27年度収支決算（案）について	9	8	全員賛成
		③役員を選任について	9	8	全員賛成
		④評議員を選任について	9	8	全員賛成
2	決議の省略 (H28. 4. 1)	①理事を選任について	9	9	全員賛成
3	決議の省略 (H28. 6. 20)	①公益財団法人 ジャパン・スタッドブック・インターナショナル役員及び評議員の報酬等の支給に関する規程の一部改正（案）について	9	9	全員賛成
4	H28. 12. 6	①評議員を選任（案）について	8	7	全員賛成
		②平成29年度事業計画書（案）について	9	8	全員賛成
		③平成29年度収支予算書（案）について	9	8	全員賛成
		④公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル登録規程の一部改正（案）について	9	8	全員賛成

(2) 理事会

回	開催年月日	議決事項	当日の 議員数	当日の 出席数	議決の 結果
1	H28.2.25	①平成27年度事業報告（案）について	4	3	全員賛成
		②平成27年度収支決算（案）について	4	3	全員賛成
		③公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル	4	3	全員賛成

		ョナル職員給与規程の一部改正について			
		④役員の選任について	4	3	全員賛成
		⑤評議員の選任について	4	3	全員賛成
		⑥第1回評議員会(定時)の開催について	4	3	全員賛成
2	決議の省略 (H28.3.3)	①役員の選任(案)について	4	4	全員賛成
		②評議員の選任(案)について	4	4	全員賛成
3	H28.3.15	①理事長及び常務理事の選定(案)について	4	4	全員賛成
4	決議の省略 (H28.3.24)	①理事の選任(案)について	4	4	全員賛成
		②第2回評議員会について	4	4	全員賛成
5	決議の省略 (H28.6.13)	①公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル役員及び評議員の報酬等の支給に関する規程の一部改正(案)について	4	4	全員賛成
		②公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル職員就業規則の一部改正(案)について	4	4	全員賛成
		③公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル職員給与規程の一部改正(案)について	4	4	全員賛成
		④平成28年度第3回評議員会について	4	4	全員賛成
6	決議の省略 (H28.11.21)	①第4回評議員会の開催(案)について	4	4	全員賛成
7	H28.12.6	①平成29年事業計画(案)について	4	3	全員賛成
		②平成29年度収支予算(案)について	4	3	全員賛成
		③公益財団法人ジャパン・スタッドブック・インターナショナル登録規程の一部改正(案)について	4	3	全員賛成

		④評議員候補者について	4	3	全員賛成
--	--	-------------	---	---	------

2 評議員に関する事項

評議員（9名）

氏名	就任年月日	退任年月日	備考
井出道雄	H24.3.14	H28.3.15	
岩崎幸治	H28.3.15	H28.10.31	
岡本金彌	H28.3.15		
鈴木淑子	H28.3.15		
留守悟	H28.12.6		
町田勝弘	H28.3.15		
西村啓二	H28.3.15		
古屋明	H28.3.15		
本村凌二	H28.3.15		
森保彦	H28.3.15		
山本雅男	H28.3.15		

3 理事・監事に関する事項

役員（理事4名：監事2名）

職名	氏名	勤務	就任年月日	退任年月日	備考
理事長	佐藤浩二	非常勤	H27.10.1	H28.3.15	
〃	和田雅雄	常勤	H28.3.15		
常務理事	杉本透	常勤	H28.3.15		
理事	岩元正文	常勤	H28.3.15		
〃	宮本恭一	非常勤	H28.3.15	H28.3.31	
〃	川崎泰彦	非常勤	H28.4.1		
監事	大城清也	非常勤	H28.3.15		
〃	木所康夫	非常勤	H26.10.20	H28.3.15	
〃	谷崎潤	非常勤	H28.3.15		

4 職員等に関する事項

組織	参与数	職員数	嘱託数	計	備考
総務部	1	5		6	
経営企画部	1	5		6	
国際業務部	1	6	1	8	

登録部	1	9		10	
北海道事務所		4		4	
計	4	29	1	34	

5 許可、認可及び承認に関する事項

登録規程の変更

平成 28 年 12 月 27 日

農林水産大臣

6 登記に関する事項

(1) 評議員、代表理事、理事及び監事の変更登記

平成 28 年 4 月 4 日 東京都法務局港出張所

(2) 評議員の辞任登記

平成 28 年 11 月 9 日 //

(3) 評議員の就任登記

平成 28 年 12 月 16 日 //

7 助成金及び寄附金に関する事項

(1) 助成金

日本中央競馬会 317,349,876 円

日本中央競馬会（特別振興助成金） 161,267,121 円

地方競馬全国協会 71,974,774 円

（一財）日本中央競馬会弘済会 8,000,000 円

（一社）日本競走馬協会 1,000,000 円

(2) 寄附金

日本馬主協会連合会、（一社）札幌馬主協会、（一社）函館馬主協会、
（一社）新潟馬主協会、（一社）東京馬主協会、（一社）中山馬主協会、
（一社）京都馬主協会、（一社）日本調教師会、日本騎手クラブ、
（公社）日本軽種馬協会、日高軽種馬農業協同組合、胆振軽種馬農業協同組合、
十勝軽種馬農業協同組合、千葉県両総馬匹農業協同組合、（一財）グリーンチャンネル、
（公財）軽種馬育成調教センター、（公財）競走馬理化学研究所、
（公財）中央競馬馬主社会福祉財団、（公社）日本装蹄協会、
競馬セキュリティサービス株式会社、JRA システムサービス株式会社、
JRA ファシリティーズ株式会社、株式会社中央競馬ピーアール・センター、
日本スターティング・システム株式会社、日本馬匹輸送自動車株式会社、
株式会社ノーザンホースパーク 他

5,850,000 円

平成 28 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、附属明細書は作成しない。